学校番号	T3036

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）初級総合英語	1	4	担当者作成ハンドアウト等

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・初級総合英語では、リスニング活動やスピーキング活動等の様々な活動を通じて、英語の基本的な構造や規則を主に学習していきます。
・様々な活動を通じて、英語に慣れ親しみ、理解を深めていきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第４学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発音されれば、身近な単語や句を正確に聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと発話される基本的な語句や表現からなる英文の（１文）の内容を正確に聞き取ることができる。	・基本的で具体的な語句や句の意味を、実物を思い浮かべて理解することができる。 ・日常生活で使われる短い簡単な指示やレストランのメニューなどを理解することができる。	・決まった日常のあいさつや季節のあいさつのやり取りをすることができる。 ・決まった表現や形式を用いて、日時や場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて、身近な物事について簡単な説明をすることができる。	・基本的な単語をブロック体で正確に書くことができる。 ・例を参考にしながら自分自身についての基本的な情報を書くことができる。 ・基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・簡単な物語などを読み、内容を理解することができる。また、読んだ内容についての感想を表現するための表現を学習し、英語で自分の意見などを書くことができる。	・読んだり聞いたりした事の感想を適切な英語を使って表現することができる。	・英語を読んだり聞いたりしていく中でわからない単語や表現があれば自主的に調べたり質問したりして、積極的に学習を進めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	1.文の種類 2.句と節 3.主語と動詞 4.補語と目的語	聞くこと	a: 平叙文・疑問文の語順やイントネーションの違いを理解している。 b: 主語・動詞を特に意識し、必要な情報を聞き取っている。 c: 主語・動詞を特に意識し、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		読むこと	a: 基本的な英文の構造や語彙を理解している。 b: 簡単な物語を読み、概要や場面を理解している。 c: わからない単語や表現の意味を調べ、物語の概要や場面を理解しようとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		話すこと （やり取り）	a: 日常のあいさつや頻出の語彙を理解している。 b: 疑問文の意味を理解し、主語・動詞を用いた適切な英文で返答している。 c: 聞き取りやすい声量・速度で会話を進めようとしている。	授業内での活動 スピーキング テスト
		書くこと	a: 基本的な英文の構造や語彙を理解している。 b: 物語に関する感想を主語・動詞を用いた適切な英文で書いている。 c: わからない単語や表現の意味を調べ、物語の感想を書こうとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
	中間考査			
	5.基本時制 6.完了時制 7.受動態	聞くこと	a: 英文を聞き取り、その英文の時制や主語を理解している。 b: 時系列を意識し、必要な情報を聞き取っている。 c: 時系列を意識し、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		読むこと	a: 時制、能動態・受動態の違いを理解している。 b: 時系列を意識し、物語の概要や場面を理解している。 c: 時系列を意識し、物語の概要や場面を理解しようとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		話すこと （発表）	a: 自己紹介を行う際に必要な語彙を理解している。 b: 自身の過去の出来事や現在の習慣を適切な英文で表現している。 c: 聞き手に伝わりやすいように、身振り手振り等の工夫を交えて英語を話そうとしている。	授業内での活動 スピーキング テスト
		書くこと	a: 受動態の構造・時制を理解している。 b: 物語の感想を時系列に沿って、適切な英文で書いている。 c: わからない単語や表現の意味を調べ、物語の感想を時系列に沿って、適切な英文で書こうとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
	期末考査			

後期	8.助動詞 9.不定詞 10.動名詞	聞くこと	a: それぞれの助動詞の意味や不定詞・動名詞の用法を理解している。 b: 助動詞を意識し、必要な情報を聞き取っている。 c: 助動詞を意識し、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		読むこと	a: それぞれの助動詞の意味や不定詞・動名詞の用法を理解している。 b: 助動詞・不定詞・動名詞が用いられている物語の概要や場面を理解している。 c: わからない単語や表現の意味を調べ、助動詞・不定詞・動名詞が用いられている物語の概要や場面を理解しようとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		話すこと （やり取り）	a: 助動詞・不定詞・動名詞を含む英会話で頻出の表現を理解している。 b: 設定された状況に適した表現を用いて、会話を進めている。 c: 聞き取りやすい声量・速度で会話を進めようとしている。	授業内での活動 スピーキング テスト
		書くこと	a: それぞれの助動詞の意味や不定詞・動名詞の用法を理解している。 b: 助動詞・不定詞・動名詞を用いて、自分自身の趣味等を適切な英文で表現している。 c: わからない単語や表現の意味を調べ、助動詞・不定詞・動名詞を用いて、自分自身の趣味等を適切な英文で表現しようとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
	中間考査			
	11.分詞 12.関係詞 13.比較	聞くこと	a: 分詞・関係詞・比較の英文構造を理解している。 b: 分詞や関係詞の構造を理解し、必要な情報を聞き取っている。 c: 分詞や関係詞の構造を理解し、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		読むこと	a: 分詞や関係詞の構造を把握し、修飾関係を理解している。 b: 分詞・関係詞・比較が用いられている物語の概要や場面を理解している。 c: わからない単語や表現の意味を調べ、分詞・関係詞・比較が用いられている物語の概要や場面を理解しようとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
		話すこと （発表）	a: 句や節を意識し、英語を話している。 b: 必要に応じて分詞・関係詞・比較を用いて、物語の要約・その物語に対する感想を適切な英文で話している。 c: 聞き手に伝わりやすいように、身振り手振り等の工夫を交えて英語を話そうとしている。	授業内での活動 スピーキング テスト
		書くこと	a: 分詞・関係詞・比較の英文構造を理解している。 b: 必要に応じて分詞・関係詞・比較を用いて、物語の要約・その物語に対する感想を適切な英文で表現している。 c: わからない単語や表現の意味を調べ、必要に応じて分詞・関係詞・比較を用いて、物語の要約・その物語に対する感想を適切な英文で表現しようとしている。	授業内での活動 ハンドアウト
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度